

# 孤島の太陽 (1968)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1968/09/21

## 【解説】

伊藤桂一の『「沖ノ島」よ私の愛と献身を』を、千葉茂樹が脚色し吉田憲二が監督した。高知県の沖の島を舞台に、保健衛生医療の普及に尽力した保健婦の荒木初子を取り上げる。

昭和24年、荒木初子が駐在保健婦として生まれ故郷である沖の島に帰ってきた。島は乳児死亡率が高く、フィラリア症が蔓延していた。初子は島を巡り保健指導をしようとするが、島民は医療に対する理解が少なく、なかなか受け入れてもらえない。初子は身寄りのない少女を育てることにし、また産婆や喧嘩の仲裁まで買って出た。その甲斐あって、徐々に島に衛生医療が広がり始め、半年後には乳児の死亡率が減っていた。しかし青年団長の父親がフィラリアで死亡し、初子は強いショックを受ける。

## 【クレジット】

監督 吉田憲二

企画 大塚和

原作 伊藤桂一

脚本 千葉茂樹

撮影 萩原憲治

美術 川原資三

音楽 真鍋理一郎

出演 樫山文枝

勝呂誉

芦川いづみ

宇野重吉

二木てるみ

前田吟

浜村純

桑山正一

鶴丸睦彦

下條正巳

嵯峨善兵

町田博子

浦辺糸子

原知佐子

須田喜久代

佐々木景子

三崎千恵子

西原泰江

宮沢尚子

**allcinema**

田中筆子  
亀山靖博  
山本卓史  
長尾敏之助